

牛乳使用量 100mL
(実用容量 450mL)



電子レンジ用



注意

●オープン・直火は
使用できません

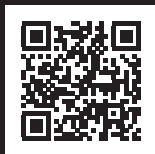
CREAMER・Qto

クリーマー・キュート

取扱説明書

モーターハンドル保証書付き

お買いあげ誠にありがとうございます。正しくご使用して
いただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。
また、お読みになりましたら、大切に保管してください。



HOW TO USE

HARIO

家庭用

保証書在中

⚠注意

正しくご使用していただくため、
取扱説明書を必ずお読みください。

ガラス本体について

お取り扱い上の注意

⚠️ フタ・ハンドルセットは必ず取り外し、ガラス本体のみで電子レンジ加熱してください。

⚠️ 電子レンジ以外の加熱器具は使用しないでください。

⚠️ ガラスは割れるものです。洗浄やご使用時はていねいにお取扱ってください。

⚠️ お子様に使用させないでください。また、幼児のそばで使用したり、幼児の届く所に置かないでください。

- ご使用前には洗浄をしてください。
- ヒビ、欠け、強いスリ傷の入ったものは、思わぬときに破損することがありますので、使用しないでください。
- ケガ防止の為、お取り扱い前にはヒビや欠けが無いかご確認ください。
- ガラス器の内面を、金属スプーンなどで強くたたいたり、強くこすったりしないでください。破損の原因になります。
- ガラス本体が熱いうちにぬれた布でふれたり、ぬれた台の上に置くと、急激な温度変化により破損する場合があります。おやめください。
- 氷など、固い材料を混ぜて攪拌しますと、ガラスを傷つけ破損の原因になります。
- 破損した際のお取扱いは、ケガをしないよう十分ご注意ください。
- 廃棄する際は、各自治体の指示に従い分別してください。

電子レンジでのご使用上の注意

⚠️ 突然一気に沸騰して液体が激しく吹き出す恐れがあります（突沸現象）。電子レンジから取り出す際は顔などを近づけないでください。

- 突沸現象については、弊社ホームページwww.hario.comをご参照ください。
- 外側の水滴は拭き取ってから電子レンジに入れてください。
- 空だきはしないでください。
- ご使用の際は、お手持ちの電子レンジの取扱説明書をよくお読みください。
- 電子レンジ加熱後は熱くなりますので、持ち運びの際は、なべつかみなどを使って器全体や取っ手を持ってください。また、ビニール製のテーブルクロスなど、熱に弱いものの上には置かないでください。台に置く際は必ずなべきなどをご使用ください。



突沸に注意

お手入れの方法

⚠️ 洗浄する場合はやわらかいスポンジに中性洗剤を使用してください。

⚠️ やわらかいスポンジでも、右図のようにクレンザーやガラスに傷のつく研磨材、または研磨粒子がついているスポンジなどは使用しないでください。思わぬときに破損する原因となります。

- 本製品は食器洗い乾燥機のご使用ができます。ご使用の際は、お手持ちの食器洗い乾燥機の取扱説明書をよくお読みください。
- ガラスの汚れのひどいときは「家庭用漂白剤」を薄めてご使用ください。その際「家庭用漂白剤」の取扱注意事項を必ずお守りください。漂白後は十分に水洗いしてください。
- ガラスの内面を洗う際、十分ご注意ください。内側から力を入れてタオルを絞る様にヒネリ洗いをしますと、破損し思わぬケガをする危険があります。



ハンドルセットについて

お取り扱い上の注意

⚠ モーターハンドルをテーブルから床に落とす等の強い衝撃が加わった場合、故障の原因となりますのでご注意ください。

⚠ 回転中の攪拌シャフトにはお手を触れないでください。

⚠ **攪拌シャフトはモーターハンドルから取り外さないでください。**
無理にひっぱったり、曲げたりしますと軸ぶれの原因になります。

- モーターハンドルを分解しないでください。故障の原因になります。
- ご使用後ハンドルセットを逆さに置く場合はスプリングリングについた牛乳をよく拭き取ってください。牛乳がモーターハンドルに流れ込む可能性があり、故障の原因となります。
- 攪拌シャフトが回転している状態で人に近づかないでください。髪の毛が絡まったり、ケガをする恐れがあります。お取り扱いには十分ご注意ください。
- 攪拌シャフトが回転しない時は乾電池を交換してください。
- 連続して1分間以上回転させないでください。故障の原因になります。



お手入れの方法

⚠ モーターハンドルは防水ではありません。内部に水を入れたり、濡らしたりしないでください。故障の原因となります。洗浄する場合は、モーターハンドルを避け、攪拌シャフトのみを洗ってください。（「ご使用の前に」をご参照ください。）

- モーターハンドルに汚れが付いた場合は、乾いた布でふき取るか、よく水気を絞った布で拭いた後、乾いた布で拭いてください。
- 右図のような取扱いをされますと、モーター部・通電接触部に液体が侵入し、動作不良・故障の原因となります。



牛乳や水分がついたまま逆さにする。

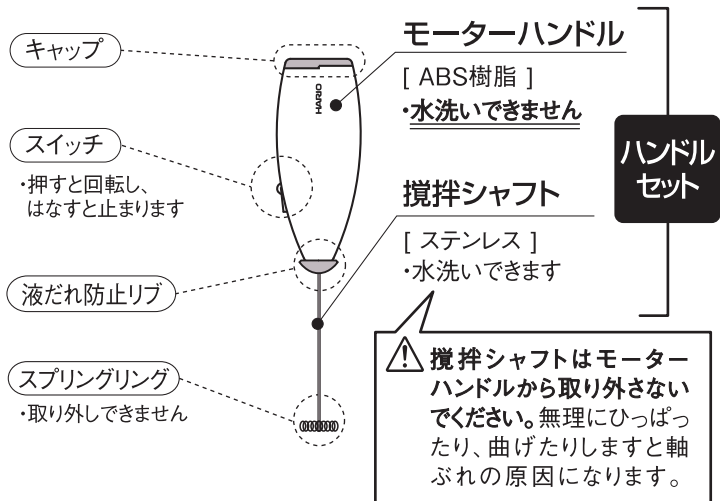


水につける。

モーターハンドル仕様

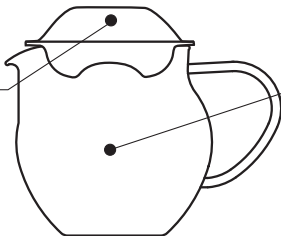
電 源	単3アルカリ乾電池 2本使用 ※本製品に乾電池は含まれておりません
定格時間	標準連続使用時間 30秒 連続使用可能時間 60秒 保証期間1年間 (※通常の使用方法を守った場合) ■モーターについて■ 使用しているモーターには寿命があります。説明書表記通りの正しい使い方をされても、モーターが回らなくなりましたら寿命です。(30秒間連続で使用し、約1500回)

■材質のご案内■



フタ

- [ポリプロピレン]
- ・耐熱温度120℃
- ・電子レンジ不可
- ・食洗機OK



ガラス本体

- [耐熱ガラス]
- ・耐熱温度差120℃
- ・電子レンジOK
- ・食洗機OK

HARIO Glass®

HARIO Glass® は HARIO の耐熱ガラス素材の商標です。

- ガラス本体:日本製 ●フタ・ハンドルセット:中国製
- この製品は日本で品質管理し、組立てたものです。

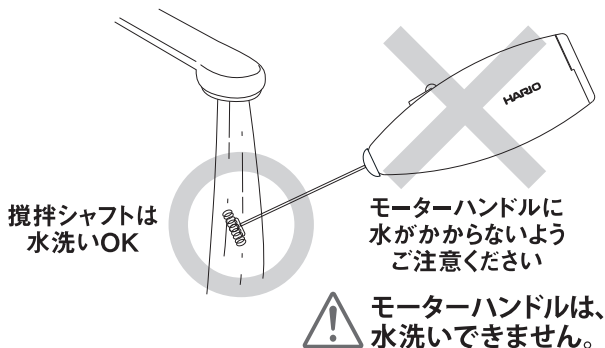
●製品についてのお問い合わせ先●

HARIO株式会社

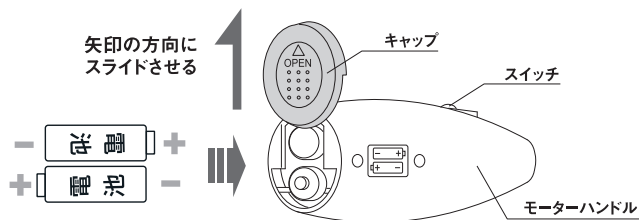
〒103-0006東京都中央区日本橋富沢町9-3
フリーダイヤル:0120-39-8208 <https://www.hario.com>

ご使用の前に・・・

シャフト部を水道水で洗浄する



モーターハンドルに乾電池を入れる



- キャップをOPENの方向にスライドさせ取り外してください。
単3アルカリ乾電池2本を上図のように、＋の向きを正しくセットしてください。
※本製品に乾電池は含まれておりません。
※種類の違う乾電池を一緒にセットしないでください。

泡立ちミルクの作り方

カプチーノ、カフェラテ用のキメこまかくなめらかな泡立ちミルクができあがります。

1 牛乳を入れる

ガラス本体のメモリ線
(約100mL)まで牛乳を
入れます。

ココまで
→



2 電子レンジで温める

電子レンジで40℃～60℃に温めます。

⚠フタ・ハンドルセットは必ず取り外し、
ガラス本体のみで電子レンジ加熱して
ください。



※右記の目安時間を参考に加熱してください。
電子レンジの機種、牛乳を温める前の温度により加熱時間が異なる場合がありますので調整して加熱してください。

※キッチン用の温度計で確認することをおすすめいたします。適温でない場合、泡立ちにくいことがあります。

加熱目安時間
(牛乳100mLの場合)

500W	50～60秒
600W	40～50秒
700W	30～40秒

アイス用としてお召し上がりになる場合は電子レンジで温めず、
1℃～5℃に冷やした牛乳を泡立ててください。

3 傾けて泡立てる

フタをして、ハンドルセットをしっかりとフタに差込んだまま、ガラス本体を斜めに傾け、スイッチを押しつつづけてください。30秒程泡立てます。



※まっすぐ立てた状態ですと、泡立ちにくいです。全体を傾けた状態で泡立ててください。



フタに差し込み



傾ける



30秒程泡立てる



できあがり

ハンドルセットはフタにまっすぐ差し込んだ状態で固定してください。

ガラス本体をテーブルに置いて取っ手部がテーブル面に接するくらいの傾きが目安です。(右図参照)



⚠ 攪拌シャフトがガラス本体に当たらないようご注意ください。

泡立て終わったら30～60秒くらい放置して泡をなじませると、泡がしっかりします。その際はスプーン等ですくって泡をお飲みものにのせてください。

4 トッピングする

用意しておいたお好みの飲みものにのせてお召し上がりください。



※牛乳はすべてが泡にならず、多少液体が残ります。

「泡立ちミルクの作りかた」のコツとご注意

牛乳

牛乳は市販されている一般的なもので構いません。「低脂肪乳」や「高脂肪乳(4.0%以上)」の牛乳は、泡立ち方が異なる場合があります。「加工乳」や「乳飲料」は適していません。

温度

よく泡立つ適温は、
40℃～60℃

[ホット用の場合、40℃～60℃(電子レンジで温める)]
[アイス用の場合、1℃～5℃(氷水などで冷やす)]

ホット

電子レンジの機種、牛乳を温める前の温度により加熱時間が異なります。加熱後、ガラス本体の外側を触り、「熱い!」と感じたら少し冷ましてください。

アイス

冷蔵庫内の温度によって異なりますが、冷蔵庫から取り出した牛乳の温度は10℃前後なので泡立にくいことがあります。適温にするには、氷水で5分以上冷やすか、冷凍庫で10分～15分冷やす方法があります。

- キッチン用の温度計で確認することをおすすめいたします。適温でない場合、泡立にくいことがあります。
- ホットとアイスでは泡立ち具合が多少異なります。ホットの方がよく泡立ちます。アイス用で泡立てた泡はホット用で泡立てた泡に比べると泡を維持する時間が短くなります。
- 生クリームは泡立てられません。牛乳専用です。氷などの固いもの、卵などの粘性の高い食品の攪拌はできません。

泡立ちミルクの上に絵を描いてみよう!

濃い目のコーヒー ※で竹串などを使って絵を描いてみよう



※濃い目のコーヒー

インスタントコーヒーを少量の湯で溶かすのがおすすめです。インスタントコーヒーとお湯の割合が2対1程度にしてください。コーヒーを付け過ぎないこと。ごく少量で書いた方が仕上がりがきれいです。



切り抜いた型紙の上からココアパウダーをふるってみよう



出来るだけ泡の近くにお好みの形に切り抜いた型紙を置いてココアパウダーをふるってください。離れた位置からだとなりがキレイに出ない場合があります。



Milk 100mL
(Practical capacity 450mL)



For Microwave Use

 **Caution**

• Do not use with any heating device other than a microwave oven.

CREAMER • Qto

Instruction Manual

Thank you for purchasing this HARIO product.
Please be sure to read this instruction manual thoroughly prior to use. After reading the manual, store it in a safe place for future reference.

HARIO

Glass Bowl

Precautions for Use

- ⚠ The lid and foamer handle must be removed. Only the glass bowl should be heated in the microwave.
 - ⚠ Do not heat using anything other than a microwave oven.
 - ⚠ Glass is fragile and may break. Handle it carefully during normal use and cleaning.
 - ⚠ Do not allow children to use this product. Do not use near children, and store out of reach of children.
- Wash the product before using for the first time.
 - Do not use the product if it is cracked, broken, or heavily scratched as it may break unexpectedly.
 - To prevent injury, make sure there are no cracks or chips prior to use.
 - Do not strike or scrape the inside of the glass container with a metal spoon. Doing so may damage the product.
 - Do not touch the glass container with a wet cloth or place on a wet surface while hot, as doing so may damage the glass related to sudden temperature change.
 - Do not put ice or hard foods when mixing. Doing so may cause to break the glass.
 - If the product becomes damaged, please handle any broken pieces with care.
 - Follow local rules on garbage disposal when disposing of this product.

Precautions for Use in a Microwave

- ⚠ Liquid may boil rapidly, causing the liquid to suddenly be expelled from the container (known as the bumping phenomenon). Keep your face away from the product when removing from the microwave.



Do not bump

- Wipe off any water droplets from the outside of the product before placing in a microwave.
- Do not heat when empty or with very little inside.
- Consult the instruction manual of your microwave before use.
- The entire container will become hot after heating in a microwave. Use oven gloves to hold the container or handle when carrying. Do not place directly onto items that are not heat resistant such as a vinyl tablecloth. Always place on a pot stand.

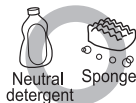
Product Care

! Use a soft sponge and neutral detergent to clean this product.

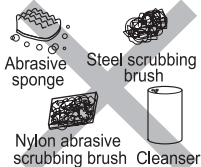
! Do not use cleansers or sponges that contain abrasives, as doing so may scratch the glass.

- The glass parts is dishwasher safe. Be sure to read the instruction manual provided with your dishwasher before use.
- If the glass is particularly dirty, use a diluted household bleach. Be sure to read the handling precautions of the household bleach thoroughly. Rinse thoroughly with water after bleaching.
- Please take extra care when cleaning the inner side of the glass. Washing the inner side forcefully with a twisting motion as if wringing a towel can cause breakage and unexpected injury.

Compatible



Incompatible



Foamer Handle

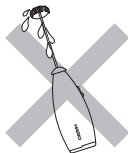
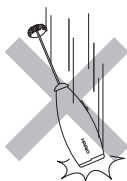
Precautions for Use

! Avoid subjecting the motor handle to strong impacts such as from dropping from the table to the floor, as this may cause the product to malfunction.

! Do not touch the whisking shaft when it is in motion.


! Do not remove the whisking shaft from the motor handle. Forcibly pulling or bending the shaft may cause it to shake.

- Do not disassemble the motor handle. Doing so may cause the product to malfunction.
- When placing the foamer handle upside down after use, wipe the spring ring thoroughly to remove any residual milk. Failure to do so may allow milk to enter the motor handle and may cause the product to malfunction.
- Do not approach people while the whisking shaft is in motion. There is a risk of hair becoming tangled or other injuries. Handle the product with care.
- Ensure that the whisking shaft is not in motion before changing the batteries.
- Do not use the product continuously for one minute or more. Doing so may cause it to malfunction.



Foamer Handle

Product Care

 The motor handle is not waterproof. Do not allow water to enter the handle or allow the handle to get wet. Doing so may cause the product to malfunction. When cleaning, avoid the motor handle and wash the whisking shaft only (refer to “Before Using This Product” for more information).

- Remove any dirt on the handle by wiping with a dry cloth, or by wiping with a well-wrung cloth then wiping with a dry cloth.
- The actions shown in the diagram may allow liquid to enter the motor or electrical parts, which may cause the product fail or malfunction.



Turning upside down without removing milk or other liquids

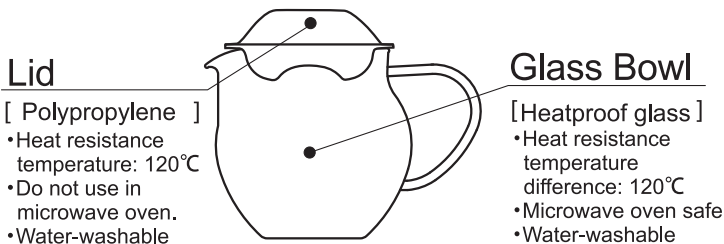
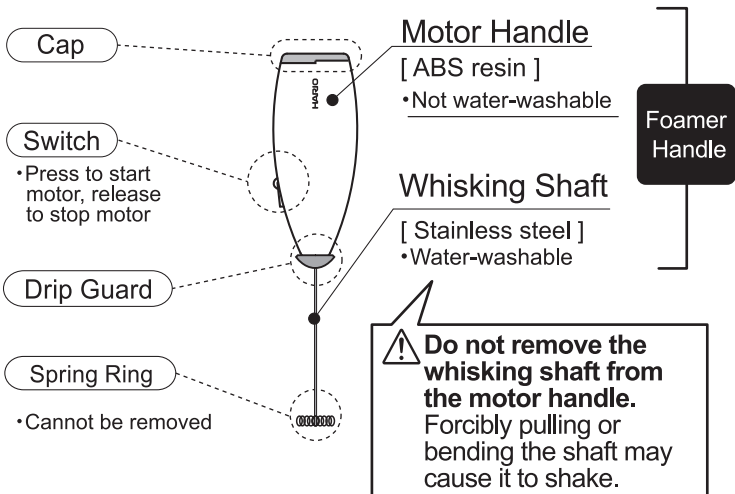


Submerging in water

Motor handle specifications

Power	Two AA alkaline batteries * <u>Batteries are not included with the product.</u>
Rated time	Standard continuous use time: 30 seconds Maximum continuous use time: 60 seconds ■Motor■ The motor used in this product has a limited lifespan. The motor has reached the end of its lifespan when it no longer functions despite being used correctly according to this instruction manual. (after approximately 1,500 uses at 30 seconds of continuous operation per use).

■Material guide■



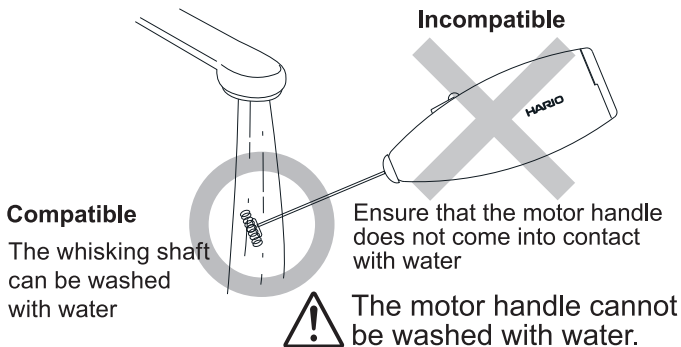
- Glass Bowl: MADE IN JAPAN
- Lid, Foamer Handle: MADE IN CHINA
- This product is assembled to strict quality control standards in Japan.

HARIO CO., LTD.

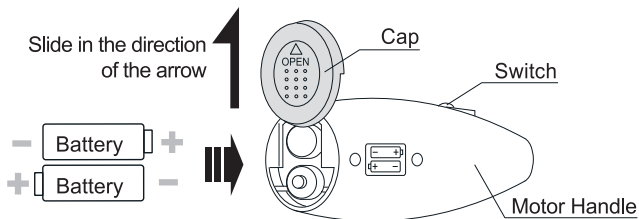
9-3 Nihonbashi Tomizawa-Cho, Chuo-ku, Tokyo 103-0006 Japan
<https://global.hario.com>

Before Using This Product

Wash the shaft with tap water



Insert batteries into the motor handle



Remove the cap by sliding it in the OPEN direction.

Insert two AA alkaline batteries in the orientation shown in the diagram.

* Batteries are not included with the product.

* Do not mix different types of batteries.

Foaming Milk

Make smooth, finely textured foamed milk for cappuccinos and lattes.

1 Add milk

Pour milk into the glass bowl up to the line (approx. 100 mL).

Fill to here



2 Heat in the microwave

Heat the milk to 40°C to 60°C in a microwave.

⚠ The lid and foamer handle must be removed. Only the glass bowl should be heated in the microwave.



Approximate heating times are shown in the table on the right. The time required may vary depending on the microwave used and the temperature of the milk before heating. Make adjustments as required.

* It is recommended to check the temperature with a kitchen thermometer. Milk may not foam correctly if not at the appropriate temperature.

Approximate Microwave Heating Times
Amount to be heated Approx. 100mL

500W	50 to 60 seconds
600W	40 to 50 seconds
700W	30 to 40 seconds

Do not heat milk for cold drinks. Instead, cool milk to 1°C to 5°C before foaming.

3 Tilt and foam

Close the lid, then insert the foamer handle firmly into it. Tilt the glass bowl and press and hold the button to foam for about 30 seconds.



* Milk may not foam correctly if the product is upright. Tilt the body before foaming.



Insert into lid



Tilt



Foam for about
30 seconds



End

Insert the foamer handle straight into the lid and fix it in place.

As a guide, the angle of the glass bowl should be such that the handle almost touches the table on which the glass bowl is sitting. (See image on right)



⚠ Ensure that the whisking shaft does not come into contact with the glass bowl.

After foaming, leave the milk to stand for 30 to 60 seconds. This allows the foam to settle and set.

4 Topping

Place onto a drink of your choice.

* Some unfoamed milk will be left over.



Hints and Precautions

Milk

Any widely-available milk can be used. The type of foaming may differ for low fat milk and high fat milk (4% or higher). This product is not compatible with processed milk and other non-standard milk products.

Temperature

The optimum temperature for foaming is

40°C to 60°C. [Hot drinks: 40°C to 60°C (heat in microwave)
Cold drinks: 1°C to 5°C (cool with ice water, etc.)]

HOT

The time required may vary depending on the microwave used and the temperature of the milk before heating. Cool slightly if the exterior of the glass bowl is uncomfortably hot to the touch after heating.

ICE

Although there is variation depending on the refrigerator temperature, milk taken from the refrigerator is normally approximately 10°C, which is not optimal for foaming. To achieve the correct temperature, chill in ice water for at least 5 minutes or in the freezer for 10 to 15 minutes.

- It is recommended to check the temperature with a kitchen thermometer. Milk may not foam correctly if not at the appropriate temperature.
- There are slight differences between foam for hot and cold drinks. Foam for hot drinks forms more easily, and foam for cold drinks has a shorter retention time than that of hot drinks.
- This product cannot foam fresh cream and is exclusively for use with milk. It also cannot be used to whisk hard objects such as ice or highly-viscous substances such as eggs.

Create pictures on your foamed milk with chocolate sauce or cocoa powder!

